

石 邑

魚、農作物へ影響懸念

川などの三十四ヶ村に、
水を調へる。調査初日
の二十六日は、環境省
から委託を受けた業者
が郡山市の阿武隈川流
域など八地点で水を採
取した。二十七日には
県の担当者が会津坂下
飯館村の真野ダムなど
二十五地点を調べ、な
る農業用ため池は、県内
の三千力所から地域性
などを考慮して七方部
の十三ヶ村を指定した。

を臨時公表してきた。
一方で、いわき市の
鰐川のアユや、北塩原
村の松原湖のワカサ
ギから暫定基準値を超

県は二十六日まで
に、放射性物質の検査
態勢も強化した。これ
までは福島市の県庁子
力センター・福島支所

文科省、方針を伝達
 表土除去に財政支
 出を削減
 文科省、方針を伝達
 表土除去に財政支
 出を削減
 文科省、方針を伝達
 表土除去に財政支
 出を削減

水浴シーズンを開近 勿来海水浴場の空間線 議する。
水浴シーズンを開近、県と国は六月 豊と海水、土壌を調査 した。ただ、県内の十六海
域に猪苗代湖の十四 水浴場は、警戒区域 ができないと
する。調査結果を自治 体で立ち入りができな
る。

県肉生 HP、ツイム
ぐくし

市町村	水域名	地点名
福	堀川	ダムサイ
天	羽鳥池	湖心
石	千原池	ダムサイ
三	三宅池	ダムサイ
小	野田池	貯水池内
西	郷川	ダムサイ
会津若松	大川	湖心
金	沼沢	湖心
郡山、会津若松	猪苗代湖	湖心
猪	松原	湖心
北塩原、猪苗代	小野川	湖心
北塩原、猪苗代	秋元	湖心
北塩原	原	湖心
北塩原	五色沼	沼群
会津若松	東山	ダムサイ
喜	方	沼内
檜	枝	湖心
只	見	湖心
南	津	ダムサイ
飯	野	貯水池内
い	わ	ダムサイ
	高梁	貯水池内
	小玉	貯水池内

市町村	水域名	地点名
福	堀川	ダムサイ
天	羽鳥池	湖心
石	千原池	ダムサイ
三	三宅池	ダムサイ
小	野田池	貯水池内
西	郷川	ダムサイ
会津若松	大川	湖心
金	沼沢	湖心
郡山、会津若松	猪苗代湖	湖心
猪	松原	湖心
北塩原、猪苗代	小野川	湖心
北塩原、猪苗代	秋元	湖心
北塩原	原	湖心
北塩原	五色沼	沼群
会津若松	東山	ダムサイ
喜	方	沼内
檜	枝	湖心
只	見	湖心
南	津	ダムサイ
飯	野	貯水池内
い	わ	ダムサイ
	高梁	貯水池内
	小玉	貯水池内

※地下水の調査地点は個人の土地も含めるため非公表

(ため池)	
市町村	名称
桑 折	半田沼
大 玉	三ツ森
須 賀 川	広平
郡 山	宝ノ草
矢 吹	大池
白 河	泉川
西 会 津	大沼
会津美里	寺入
只 見	福井
新 地	武井
相 馬	内沢
いわき	神下堤下
いわき	新池

川、湖沼・ダム、農 業 用ため池の地点は【表 の通り。	阿賀野川の宮古橋附近 で調査する。
河川は福島市の楢上 町にまたがる猪苗代湖 と須賀川市の釈迦堂 湖とが、	湖沼・ダムは郡山、 会津若松、猪苗代三市

双葉、浪江町
一時 帰

時常宅で、双葉には 十六日、同原氏の立 入って。浪江住民は請 入った。大津波の犠 牲者など	最終目標として新たに 掲げる方針を固め、県 教委に伝えた。近く公 表する見込みだ。	電力福島第一原発事故 の「警戒」計画の避 難「緊急時避難準備」 の各区域以外でも積算 のとみられ
--	---	---

24・25頁に(関連記事)
 双葉町は田村市古道体
 館を中継基地に、新山
 田、長巻各地区の住屋
 を焼失し、思い出の品や
 重品、衣服などを持ち
 上った。渡江町は中継基
 地の南相馬市馬事公苑か
 ら移動し、棚敷、請戸、
 福島第一原発1号機
 には、注水の継続が何
 よりも重要だと独自に
 正確に報告す
 所長、
 東電説明翻す

河川		
市町村	水城名	地点名
井邊、福馬	阿武隈川	大正橋
川俣	塩 川	阿武隈川合流前 船ノ腰橋
厩 島	荒 川	阿武隈川合流前
	多 川	阿武隈川合流前
二本松	小 川	小鏡川橋
	(石川) ⁽¹⁾	石川川橋
本宮、郡山	五 百 川	阿武隈川合流前
	阿武隈川	阿久津橋
郡 山	遠 瀬 川	阿武隈川合流前
	大瀧根川	阿武隈川合流前
須賀川	阿賀野川	阿賀野川合流前
川 村	北 川	北子橋
小 野	野 井 川	北之内橋
天 栄	久 慈 川	高地原橋
津坂下川		
会 津	阿賀野川	宮古橋
喜 多 方		新郷ダム
喜 多 方	只見川	藤橋
南 会 津	阿賀野川	田島橋
	小 泉 川	百間橋
相 馬	宇 多 川	百間橋
	真 野 川	真馬橋
		草野
南 相 馬	新 田 川	小宮 木戸内橋
		鮎川橋
五 野	浅 見 川	坊田橋
新 地	地 蔵 川	日川崎橋
	大 久 保 川	藤澤橋
	仁井田川	松葉橋
い わ き	藤 原 川	六十枚橋
	渡 辺 川	みなと大橋
	蛟 川	蛟川橋
	経 田 川	蛸田橋

[illegible]

霊慰め 思い出探し

双葉町は田村市古澤地
 育鰯を中継基地に、新山
 前田、長塚各地区の住民
 が帰宅し、思い出の品や
 貴重品、衣服などを持ち
 帰った。浪江町は中継基
 地の南相馬市馬事公苑か
 ら移動し、棚塩、讀川、
 中浜地区の住民が海岸近
 くの焼倉や、線香や花を
 手向げた。その他の北嶺
 世橋、藤橋間地区の住民
 も久しぶりに家が訪れ
 れた。

一時帰宅者は十七日も
 続き、双葉町は六十人、浪
 江町百三十九人、南相馬
 九十一人が参加する。

発機
 原一
 号
 海水注入中
 東電説明翻す 所長、

福島第一原発一号機
 で地震翌日の三月十二
 日、原子炉を冷やした
 めの海水注入が五十五
 分間にわたり中断した
 とされた問題で、東京
 電力は二十六日、これ
 までの説明を翻し、実
 際には注入を継続して
 いたと発表した。第二
 原発の吉田昌郎所長
 が、事態の悪化を防ぐ
 べく、

には、注水の継続が何
 よりも重要だと独自に
 判断したという。二十
 四日から二十五日にか
 けて、吉田所長から事
 情を隠した結果、判明
 した。(2面に関連記
 事)

子力安全・保
 正確に報告す
 電を口頭で指
 社内的情報共
 決定の乱れが
 なり、東電が
 情報全体の信
 らく事態とな

武藤泰嗣社
 の記者会見で
 入を継続した
 的には妥当

枝野幸男官房長官は
 二十六日の記者会見で
 「国民も不信を抱く」
 と批判。経済産業省原